

学 習 日 誌

7月 25日 (金)	講 師	図書館振興財団教育支援室 片岡 則夫 先生	
出席者数	67名	記 録 者	10年 6班 森 千恵子
講 座 名	大航海ゼミナール3「マイブームを語ろう・大航海は難しくない」		
プログラム担当者	館・大航海G		
時 間・場 所	13:30 ~ 15:30 、第一集会室 にて		

【学習内容】

本日の講座はいつもの座席ではなく、関東、近畿、北海道・東北、中国・四国、中部、九州と各人の出身地方毎に分かれて着席したが、関東地方出身者があまりに多く東京だけ別に座席を作った。片岡先生はあすなろ大学に講師として来られてから27年目で、講座の回数は23回。テーマはいつも決めずに、要望によりテーマを決めるとの事。

まずは自分のスマホのアルバムを見る事から始まった。

(皆、しばらくスマホのアルバムを見る)すると自分の興味に気が付く。



第1部「マイブームを語ろう・大航海のネタの考え方」

まず、3人でグループを作り「インタビューごっこ」。1人のインタビューされる人に対し2人がインタビュアーになって聴き手になる。立場を交代しながら質問をしていく。このインタビューされた方が答える事も発表である。大人数の前での発表は難しいが少人数だと自然に話せる。



第2部「大航海はむずかしくない」

・大航海に正解はない？

①論文・レポートづくりばかりではない。

②題材（テーマ）を比較しない。

③もちろん、採点しない。

④自分自身の興味を見つけて、なにかに取り組めば「正解」で「満点」。

・最近ネットでの情報にまどわされるが、ネットは「信用出来る情報か」「出典が明示されているか」「引用と自分の意見の区別がされているか」等、情報の確認が難しいし、いつまで掲載されているかもわからない。しかし「本」を出版するには必ず校閲が入るので、信頼性がある。ネット情報は参考にする程度がいい。

【感想】2年ぶりの片岡先生の講座。いつも楽しみにしている。話がとても分かりやすく、私でも出来るのではという気にさせてくれる。3人での会話はとても気軽に何でも話せる。「男談」の話に興味を沸いた。何もせずにコーヒーだけを飲みながらの会話、気楽でしょうね。私も「女談」を作りたい。(冗談?)